

かほく市史編さん調査概報

新発見！市内のお宝 No. 1

眞證寺（高松）の親鸞聖人影像

かほく市史編さん調査により、高松の眞證寺にて、「親鸞聖人影像」が新たに確認されました。

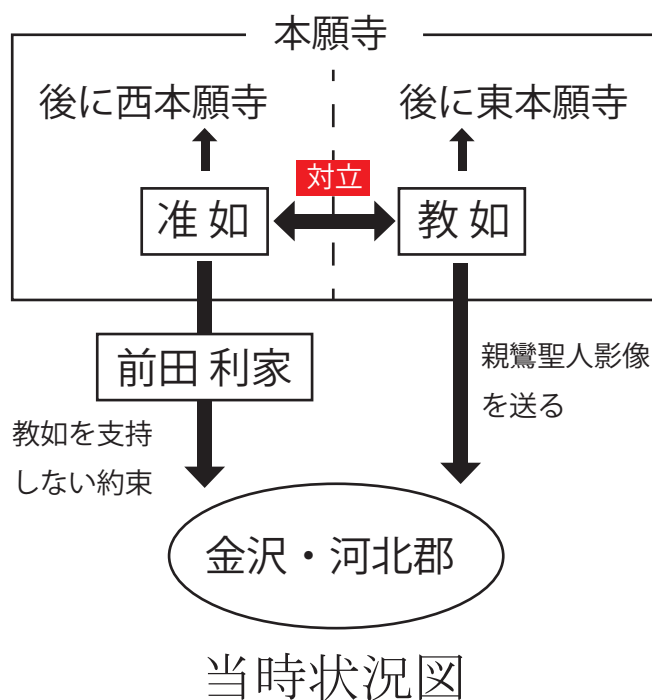
裏書は残っていないものの、眞證寺に裏書の控えが記録として残っており、その記録から「慶長3年（1598）」のものになります。基本的に、このような宗祖の影像は、宗門の一番偉い人物（宗門のトップ）から下付するものになります。しかしながら、この「親鸞聖人影像」は、本願寺が宗門のトップの後継いや復権を目指している段階の頃に、教如（きょうにょ）から下付されたものになります。加えて、この頃の金沢や河北郡は有力な門徒は、対立していた教如の弟・准如（じゅんにょ）から教如を支持しないことを前田

利家を通じて約束した状況でもありました。

そのため、この「親鸞聖人影像」は、かほく市内に教如派についた有力な門徒がいたことを分かる資料であるといえます。

その後、教如は東本願寺（浄土真宗大谷派）、准如は西本願寺（浄土真宗本願寺派）をそれぞれ創建します。そして、石川県は、富山県などにくらべ、浄土真宗大谷派の寺院が多いといわれており、なぜ多いのかを解き明かす手がかりになるのではないかと、市史編さんの委員・先生方からもいわれています。

今後の調査・研究の進捗に期待したいですね。



眞證寺（高松）の親鸞聖人影像